

# 抗MOG抗体 (Live CBA法) 半定量検査 追加のご案内 ～2月1日 受託測定開始～

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。この度、東北大学より技術移管した抗MOG抗体Live CBA法におきまして、従来の定性検査に加えて、新たに「半定量」検査を追加致します。2月1日より検体受付を開始致しますので、ここにご案内申し上げます。

敬具

## 抗MOG(myelin oligodendrocyte glycoprotein)抗体関連疾患とは\*

抗MOG抗体関連疾患は、抗MOG抗体が陽性となり、中枢神経系に炎症性脱髄病変を生じる近年確立された新たな疾患単位です。病型として視神経炎、脊髄炎、視神経脊髄炎関連疾患、脳幹脳炎、脳炎を呈すると言われております。

※引用：中島一郎ら BRAIN and NERVE 73(5):483-488,2021

## 【抗 MOG 抗体 Live CBA 法<sup>※1</sup>の特徴】

- 東北大学より Live CBA 法を技術移管<sup>※2</sup>し、感度が向上
- 専門医師による画像判定プロセス<sup>※3</sup>を導入
- 脳脊髄液(髄液)の検査も可能に

※1 抗MOG抗体の測定では、生きた細胞を用いたCBA法(Live CBA法)が推奨されております。

(引用：日本神経免疫学会お知らせ 抗MOG抗体測定法の変更に伴う、留意点や測定法の違いについて,2021)

※2 完全同一のアッセイ方法ではありません。技術移管に伴い、専門家の意見のもと最適なアッセイ方法を選択しています。

※3 最終結果の画像判定を専門医師(東北大学)が行う新プロセスになりました。

### 「半定量」検査とは

検体(血清または髄液)をそれぞれ規定した下記3 pointの希釈倍率にて検査を実施し、陽性と判断された最大の希釈倍率を報告値として結果をお返し致します。全ての希釈倍率において陰性と判断された場合では、報告値は陰性となります。

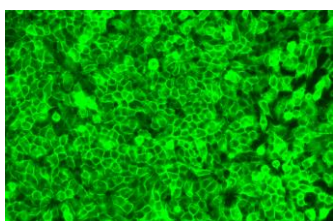
<希釈倍率> ※定性検査時の希釈倍率です。

■ 血清：16倍<sup>※</sup>、64倍、256倍      ■ 髄液：1倍<sup>※</sup>、4倍、16倍

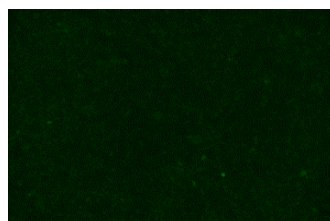
### 【報告例】

髄液 1倍(陽性)、4倍(陽性)、16倍(陰性) という結果の場合、報告値 4倍(陽性)

抗 MOG 抗体 陽性例(髄液)



抗 MOG 抗体 陰性例(髄液)



## ◆受託測定の流れ・注意事項◆

### ◇価格

項目名	測定料(税抜)
抗 MOG 抗体(Live CBA 法)半定量	36,000 円

### ◇ご報告

弊社に検体が届いてから**15営業日**でご報告いたします。

### ◇材料及び必要量

**血清又は髄液 500μL**

採取後、-10℃以下の凍結にて保存してください。

### ◇発送方法

弊社HPから測定の申込みを行った後、申込書を同封し、検体は**凍結状態で弊社に到着するように、ご発送**ください。

検体到着は、平日 月曜日～金曜日の午前中着指定をお願いいたします。

### ◇注意事項

お預かりする検体は、原則、検査終了後に廃棄いたします。弊社にて保管することはいたしかねますのでご了承ください。


患者名等の個人情報に記載されている場合、受付をお断りする場合がございます。

通し番号等暗号化処理をした上でご依頼頂くようお願いいたします。

本検査は研究を目的とした検査の為、検査結果を診断に使用することはできません。

また、保険請求することもできませんのでご注意ください。

**随時、受託測定を承っております**

検索はこちら [コスミック 受託測定](#) 

### <お問い合わせ先>

株式会社コスミックコーポレーション 営業部

E-mail:cc@cosmic-jpn.co.jp